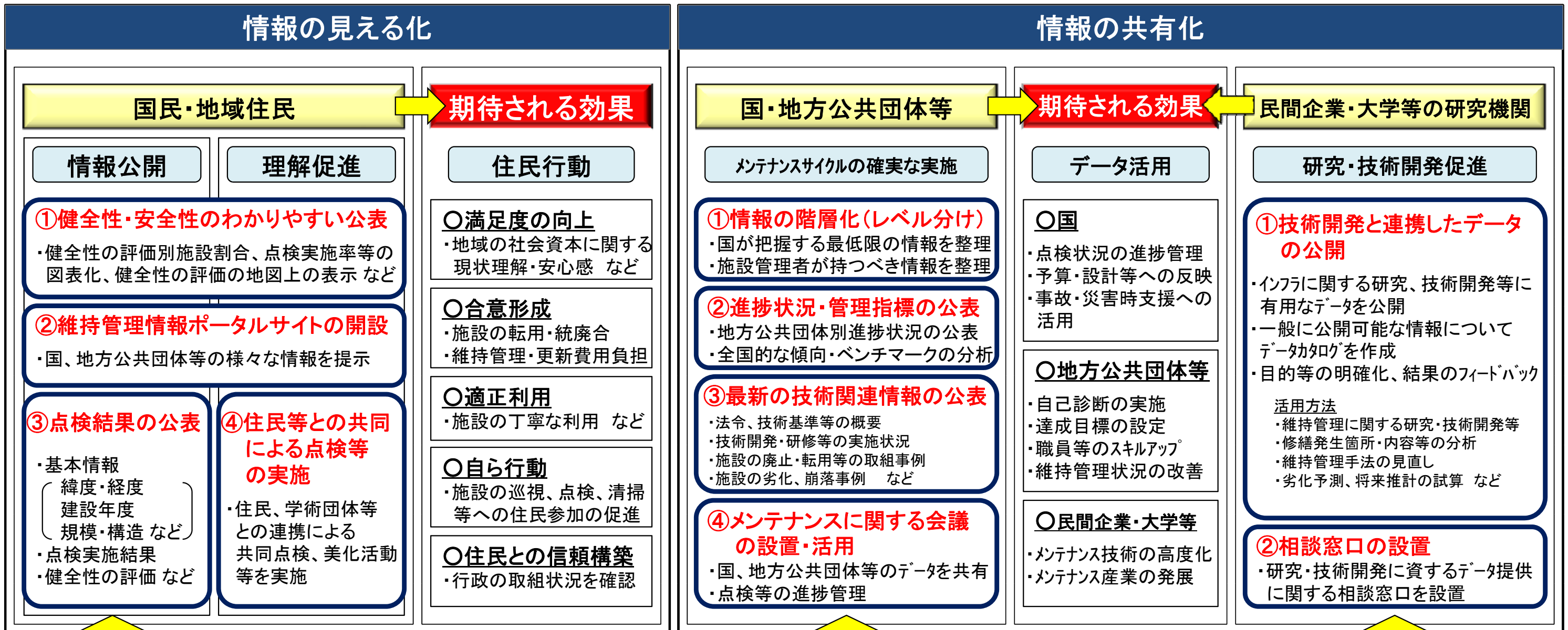


「維持管理・更新に係る情報の共有化、見える化」とりまとめイメージ(案)

- ・各分野における社会資本情報のデータベース化、情報の見える化、情報の共有化を推進するために必要な施策を具体化。
- ・「情報の見える化」については、国民や地域住民への情報公開、理解促進のために必要な施策を推進し、住民行動への進展を期待。
- ・「情報の共有化」については、メンテナンスサイクルの確実な実施、研究・技術開発の促進のために必要な施策を推進し、データの活用を図る。

メンテナンスの特徴：現物（施設）がそこにあること



社会資本情報プラットフォームの構築

・全ての分野にわたる個々のデータベースから必要な基本情報や維持管理情報を収集・集計整理し、横並びで閲覧・検索

データベース化

①データ入力様式の標準化・自動化

- ・標準様式によりデータ入力を省力化
- ・点検業者による点検結果の入力等を推進
- ・施設の特성에応じてデータ入力項目を設定

②社会資本情報の集約化・電子化

- ・維持管理に関する情報をデータベース化し、二次利用可能な形式で電子化(電子化のための支援策が必要)

③施設台帳等に維持管理情報を追加

- ・施設の点検結果、健全性の評価等の情報を施設台帳等に追加記載